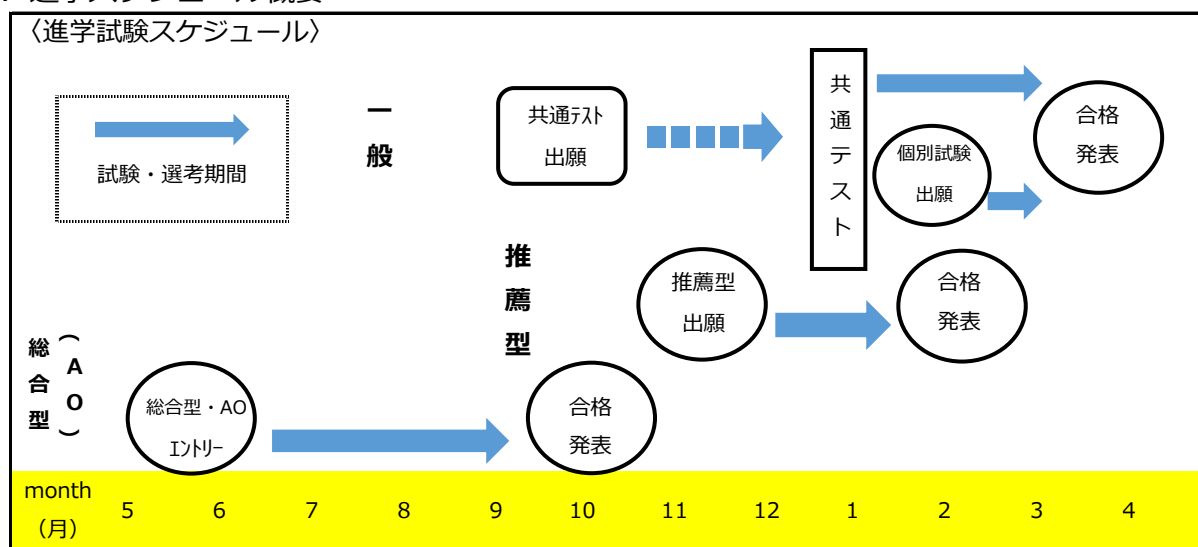


進路資料【進学編】

1. 進学スケジュール概要



2. 選考方法（入試の種類）について

選考方法	総合型選抜 (IBAO入試)	指定校推薦	学校推薦型選抜 (旧推薦入試)	一般選抜
時期	5月頃～	10月頃～	10月頃～	1月下旬～
概要	学力試験だけでは判断できない個性や学ぶ意欲を評価する入試。 説明会・オープンキャンパス・体験授業への参加が条件となる学校が多い。	大学・短大・専門学校から高校に推薦枠を与えられ、校内で推薦者を募集・選考する。 高校と受験先の信頼関係で成り立つので合格率が高い。	大学が定める出願条件を満たしたものが、高校(校長)からの推薦を受けて出願する。 評定値・出席状況などが出願条件になる。	各大学がそれぞれ個別に実施する入試。試験問題も大学ごとに異なる。 近年は3月まで複数回受験するチャンスが設けられる傾向がある。
内容	OC・体験授業参加 →書類審査+面接	書類審査+面接	書類審査・小論文 面接・適性検査など	学力試験
注意事項	エントリーの時期が非常に早く、合格発表も早いのですぐに学費の準備が必要。	受験手続後、合格後の入学辞退はできない。 合格後、すぐに学費が必要。	受験手続後、合格後の入学辞退はできない。 学校によっては併願可の場合もある。	学校・学部・学科ごとに受験科目や出題の傾向があり、過去門の研究をする必要がある。

大学入学共通テスト

大学入試 共通テスト	1月中旬 ※今年度 1/16・17	マークシート方式と記述方式(国語・数学)による学力試験。 国立大学受験者は必須。私立大学や短期大学でも選考に利用する学校が増えている。 2学期初めに高校が一括して手続きを行う。 ※次の試験では記述の出題は無し。	各志望校で必要とされている科目を事前に確認する。 受験科目により検定料が異なる。 国立大学の受験では、一般的に5教科7科目が必要。
---------------	-----------------------------	--	---

△自分にあった「選考方法」を選び、その理由を書きましょう。

◆選考方法 () ◆理由 ()

△左の表を参考に、自分にあった「選考方法」の受験スケジュールを確認しましょう。

◆出願の開始 およそ () 月 ◆合格発表 およそ () 月

3. 学費について（初年度の具体例）

※前年度までの資料です。

校 種	受験前	受験後	入学後1年目
四年制大学（文系） 例：〇〇大学 経済学部経済学科	受験料 ¥35,000	入学金 ¥260,000 前期授業料 ¥405,000 諸経費 ¥85,000 小計 ¥750,000	後期授業料 ¥405,000 諸経費 ¥85,000 小計 ¥490,000
四年制大学（理系） 例：△△工業大学 工学部	受験料 ¥30,000	入学金 ¥200,000 前期授業料 ¥675,000 諸経費 ¥23,250 小計 ¥898,250	後期授業料 ¥675,000 諸経費 ¥11,250 小計 ¥686,250
短期大学 例：□□大学短期大学部 保育科	受験料 ¥35,000	入学金 ¥440,000 前期授業料 ¥325,000 諸経費 ¥277,500 小計 ¥1,042,500	後期授業料 ¥325,000 諸経費 ¥277,500 小計 ¥602,500
専門学校 例：☆☆理容美容学校 理容科	受験料 ¥18,000	1次手続金 ¥300,000 2次手続金 ¥320,000 小計 ¥620,000	学費残金 ¥1,328,000 ※4回に分けて納入 小計 ¥1,328,000
☆ 必要な時期	願書提出前 (払込証明書を願書に添付することがある)	合格発表後 1週間～10日後	入学後 ～9月頃

※ここに挙げた具体例は、多くの学校の中のおくまで一例であって、すべての学校にあてはまるものではありません。学校や入試方法により、金額や納入期限、納入方法などが異なります。学校案内や募集要項をよく確認すること。

△表を使って進学後1年目にかかる費用を計算しましょう。

◆ 大学・文系 () ◆ 大学・理系 ()
◆ 短期大学 () ◆ 専門学校 ()